

平成28年10月25日
審判長・卓球専門部長 向井 俊博

第29回 愛媛県中学校新人体育大会 卓球の部

競技上の注意・諸連絡

現行の日本卓球ルールに基づいて行います。

1 競技方法について

団体戦のチームは、選手8名以内、監督（当該校教職員）1名をもって編成するものとします。なお、監督の他にアドバイザーとして、出場校の教職員もしくは当該校の校長の承認を得た外部指導者（外部指導者証が必要）いずれか1名のベンチ入りを認めます。

個人戦にはアドバイザー（コーチ）として、監督、または当該校の教職員、校長の承認を得た外部指導者、生徒いずれか1名のベンチ入りを認めます。

マッチ（試合）は11ポイント（点）制の5ゲームスマッチ（最終ゲームでは、どちらかが5本先取した場合、エンド交代する。ダブルスの場合は、ここでレシーバーも交代する。）で行い、サービスは2ポイント交代とします。

団体戦は4シングルス・1ダブルスの6名制で3番目にダブルスを行い、**3点先取法**で行います。個人戦はトーナメント戦方式で行います。

2 大会使用球について

大会使用球は40mmの（公財）日本卓球協会公認のホワイトボール（プラスチックボール）とします。各校で数個準備しておいてください。

3 競技服装について

競技服装は半袖シャツ、ショーツまたはスカートとします。在籍している中学校名入りのゼッケンを背中の中に入れて着用してください。（全国中学校卓球大会では、団体戦・個人戦ともに2種類以上の服装が必要です。また、団体戦はチーム全員に2種類以上の同じ服装が必要です。）競技服装の主たる色はボールの色と明らかに違う色でなければなりません。白色を基調とするものは着用できません。卓球の公認用具指定業者を除いて、在籍している中学校名以外の文字等がある競技服装は着用できません。外に出すタイプを除いて、半袖シャツはショーツまたはスカートの中に入れて競技してください。

ただし、事情のある場合は、審判長に連絡してください。

4 ラケット・ラバーについて

ルールに適合したラケット・ラバーでマッチに望むことは選手自身の責任です。ラバーはラケット本体より大きかったり、小さかったり、そして厚かったり、平坦性にかけていたりしてはいけません。また、日本卓球協会が公認していない外国製のラケット本体を大会で使用する場合は審判長に事前に使用許可を受けてください。

ラバーを張り替える必要が生じたときには、日本卓球協会が公認した接着剤で指定された場所で張り替えてください。その場合、競技の進行に支障をきたさないよう十分に注してください。

ラバーの確認をしておいてください。ラバーの状態によっては、試合に影響がでると審判長が判断した場合、そのラバーでの試合は認められなくなります。

試合のインターバルの時には、ラケットは台の上に置いてください。

5 プレーの継続性について

マッチ中、プレーは継続されなければなりません。プレーとプレーの間は時間をとらないよう気をつけてください。間合いをとりすぎるとバッドマナーとして扱います。汗を拭くためのタオルの使用は6ポイントごとのチェンジサービスのときに、サービスが1ポイントごとになったときも6ポイントごとに行い、またファイナルゲームのチェンジエンドのときも許可されます。故意の引き延ばしと見られる行動はしないでください。

6 アドバイスについて

選手がアドバイスを受けることができるのはゲーム間の1分以内の休憩時間やタイムアウトの要求が認められたとき、そして認められた競技の緊急中断のときだけとします。このとき、選手はプレー領域の3m以内にとどまらなければなりません。マッチ開始直前(2分間)の練習の後にはアドバイスを受けることはできません、また、この規定時間以外にマッチ中はベンチや観客席からの声やゼスチャー・サイン等で指示・アドバイスを受けてはいけません。

7 抗議権について

抗議権は団体戦の場合は監督に、個人戦は選手本人にあります。団体戦・個人戦ともにアドバイザーには抗議権はありません。

不明な点が生じた場合は、試合を中断して審判長に連絡してください。審判長で協議のうえ決定します。なお、カウンターをめくって試合を続行した場合、後戻りをしての得点の変更はできません。ただし、事実の判定(セーフかアウトか等)については抗議できません。

8 タイムアウトについて

1マッチに1回、1分以内でタイムアウトを要求することができます。団体戦でベンチ入りしているアドバイザーは複数コートを同時に使用して行う場合のみタイムアウトを要求することができます。

9 促進ルールについて

促進ルールは両方の選手または組からの要請があった場合やゲーム開始後10分経過しても終了しない場合に適用されます。ただし、両方の選手または組のポイントスコアの合計が少なくとも18ポイントに達した場合には促進ルールは適用されません。

10 審判について

今大会は、審判は相互または敗者審判で行います。若い番号のチームが1番、3番、5番の主審を行います。

11 進行について

各試合1台または2台進行を原則とします。挨拶は、試合開始前、試合終了後きちんと礼をしてください。

団体戦では、若い番号のチーム（個人戦では、若い番号の選手）が本部に向かって左側のベンチを使用してください。

団体戦のオーダー用紙には、氏名（フルネーム）を記入、ふりがなは読みにくい場合のみ記入してください。提出は本部より連絡された時間に遅れないようにしてください。いったん提出したオーダーは変更できません。

12 サービスについて

2本交代、オープンハンドサービスを厳守してください。

サービスを出す際は、いったん静止し、ボールを明らかに16cm以上、ほぼ垂直に上げ、落下する途中を打ってください。

サービスが開始されてから、ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレイイングサーフェスよりも高い位置（コートの高さより上方）でかつエンドラインの後方になければなりません。またその間、サーバーまたはパートナーの体の一部または着用している物でボールがレシーバーから隠れない（常にレシーバーに明らかに見える）ように気を付けてください。

今大会は、相互または敗者審判で行うため、疑わしいサービスの場合は、本部が認めた場合のみ、警告→失点とします。

*団体戦において、諸事情により1チーム6名に満たない場合には、事前に連絡してください。なお、監督者会にて確認させていただきます。

<開場及び公式練習について>

1 開 場 8 : 0 0

※ 時間厳守でお願いします。開場前の体育館周辺でのマナーを守らせてください。また、開場後、本部で受付を行いますので、監督は本部席へ来てください。

2 公式練習

団体戦(第1日目)・・・ 各チームに1台(20分程度)の割り当てを予定しています。

男子 8 : 1 0 ~ 女子 8 : 3 5 ~

個人戦(第2日目)・・・ 東・中・南で割りあてる予定です。

<進行について>

1 団体戦(第1日目)

開場(8 : 0 0) → 監督者会(8 : 4 0) → 開始式(9 : 0 0) → 競技開始(9 : 3 0)

* 決勝トーナメントの抽選は、予選リーグ終了後行います。

* 予選リーグは、原則2台進行で試合を行います。

☆ 団体戦・個人戦とも監督者会及び開会式にて進行の確認をさせていただきます。

2 個人戦(第2日目)

開場(8 : 0 0) → 監督者会(8 : 4 0) → 開会式(9 : 0 0) → 競技開始(9 : 3 0)

<その他>

1 団体戦において、優勝校は、平成28年1月31日(日)に行われる愛媛県中学選抜団体卓球大会(愛媛県総合運動公園体育館)で第1シードの権利を得ることになります。

2 団体戦優勝校と準優勝校には、強化に向けての補助が出る予定です。

<卓球専門部からのお願い>

1 体育館使用上の注意

- (1) 屋外用の履き物は、シューズ袋等で各自で管理してください。
- (2) 観客席での飲食は、座席や床を汚さないようにご協力ください。
- (3) 体育館内の通路やロビーで、練習しないでください。

2 交通・駐車場に関する注意

- (1) 駐車場内での事故防止にくれぐれもご注意ください。
- (2) 乗降は駐車場内をお願いします。
 - * 路上での乗降は危険ですので控えてください。

3 競技運営上の注意

- (1) フロアへは、原則大会関係者（選手、監督、アドバイザー、役員）のみ出入りできます。
- (2) フロアでは、原則水分補給以外の飲食は禁止されています。水分補給する場合にも、こぼさないよう十分に気をつけ、こぼれた場合は必ず拭き取ってください。
- (3) 応援・観戦また、一般観覧者の写真・ビデオ撮影等は、観客席で行ってください。なお、フラッシュ撮影は競技の妨げとなりますので禁止します。
- (4) 持参した飲食物等のゴミはお持ち帰りください。
- (5) 貴重品は各自・各校で保管し、盗難には十分に注意してください。

4 緊急災害時の動きについて

緊急災害が起きたとき、本部席より放送で指示を出す予定です。慌てずに指示に従ってください。